



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年8月9日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9941 URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラル マネージャー (氏名) 宮内 敏雄 TEL 03-5333-8080
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の業績 (2018年10月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	14,290	△4.3	26	△68.4	△31	—	△34	—
2018年9月期第3四半期	14,943	△14.2	83	△79.5	22	△93.7	19	△94.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	△26.08	—
2018年9月期第3四半期	14.33	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第3四半期	10,766	228	2.1	172.24
2018年9月期	11,742	288	2.4	217.70

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 228百万円 2018年9月期 288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	9.6	130	36.1	50	205.1	40	304.9	30.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	1,328,219株	2018年9月期	1,328,219株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	753株	2018年9月期	753株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	1,327,466株	2018年9月期3Q	1,327,513株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（日付の表示方法変更）

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、米中貿易摩擦の影響や米国の対メキシコ、対イラン等の姿勢、我が国に対しても強固な貿易交渉が予想され、外需を取り巻く環境に不透明感が漂う状況で第3四半期累計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要商品である食材で、牛肉につきましては、外食産業向けに順調に販売できたものの、調達価格の高騰を販売価格に転嫁できず、利益率が下がりました。鶏肉は、前期末頃から相場の上昇もあり、取扱数量は減少したものの収益を増加に転じさせました。加工食品につきましては、タイ産を中心に外食産業向けに堅調に推移したものの、牛肉と同様生産国の原料価格高騰により、その仕入による販売価格が敬遠され、需要側のメニュー変更等の影響も受け、取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は142億90百万円(前年同四半期累計期間比4.3%減)、営業利益26百万円(前年同四半期累計期間比68.4%減)、経常損失31百万円(前年同四半期累計期間は経常利益22百万円)、四半期純損失34百万円(前年同四半期累計期間は四半期純利益19百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第2四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(食料部)

牛肉につきましては、外食産業向けに順調に販売できたものの、調達価格の高騰を販売価格に転嫁できず、利益率が一向に回復できず粗利益が低迷しております。畜肉調製品は販売が低調に推移したことから取扱数量・売上高とも減少しました。鶏肉では、前期末頃から相場の上昇もあり、取扱数量は減少したものの大幅な収益を上げることができました。加工食品(タイ産)につきましては、外食産業向けに堅調に推移したものの、生産国の原料価格高騰により、その仕入による販売価格が需要家側から敬遠され、メニュー変更等の影響も受け、取扱数量・売上高とも減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、88億89百万円(前年同四半期累計期間比6.6%減)となりました。

(営業開拓部)

農産品につきましては、緑豆の品質が昨年に比べ劣化し販売が伸びず、中国産大豆が消費者から嫌われたことから低迷しました。玄蕎麦も低調に推移していることから、農産品は半減しました。中国向け車輛部品・エンジンにつきましては、エンジンの取引が終了したこともあり、取扱数量・売上高とも減少しましたが、他の中国向け商材等で収益を上げることができました。化学品につきましては、当社が取り扱っている商品の乙価価格は、海外勢の価格に太刀打ちできず商機が減ってしまったこと等により取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、20億14百万円(前年同四半期累計期間比36.3%減)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉では、EU産輸入に関し、新しいシッパーからの輸入が順調に進み、仕入先等から想定以上の買い付けができたことから、当初の計画より取扱数量・売上高とも大幅に上乗せすることができました。加工食品(中国産)は、生産国に対する風評は大幅に薄れてきているものの、コンビニ向け商品の販売が想定を下回ったため、粗利益、営業利益で計画未達となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、33億85百万円(前年同四半期累計期間比50.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期累計期間末の資産につきましては、主に売掛債権及び商品の減少等により前事業年度末に比べ9億75百万円減少し、107億66百万円となりました。

負債につきましては仕入債務の減少、借入金の返済等により、前事業年度末に比べ9億15百万円減少し、105億37百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失の計上及び繰延ヘッジ損益の減少等により前事業年度末に比べ60百万円減少し2億28百万円となりました。自己資本比率は2.1%となり、前事業年度末に比べ0.3%減少しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年11月13日公表の「2018年9月 決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,183,573	2,899,800
受取手形及び売掛金	4,037,323	3,635,652
商品及び製品	3,708,295	3,468,659
その他	153,504	123,610
貸倒引当金	△2,843	△2,613
流動資産合計	11,079,852	10,125,108
固定資産		
有形固定資産	284,525	276,754
無形固定資産	23,361	20,234
投資その他の資産	354,278	344,354
固定資産合計	662,166	641,343
資産合計	11,742,019	10,766,452
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,457,196	1,773,937
短期借入金	8,241,542	7,927,847
未払費用	432,116	363,861
その他	112,059	191,992
流動負債合計	11,242,914	10,257,639
固定負債		
退職給付引当金	154,642	129,826
その他	55,465	150,339
固定負債合計	210,108	280,166
負債合計	11,453,022	10,537,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,975	1,344,975
資本剰余金	1,306,916	1,306,916
利益剰余金	△2,373,780	△2,408,411
自己株式	△969	△969
株主資本合計	277,142	242,511
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	11,854	△13,864
評価・換算差額等合計	11,854	△13,864
純資産合計	288,996	228,646
負債純資産合計	11,742,019	10,766,452

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,943,127	14,290,430
売上原価	14,404,443	13,827,410
売上総利益	538,683	463,020
販売費及び一般管理費	455,504	436,754
営業利益	83,178	26,266
営業外収益		
受取利息	118	77
受取配当金	69	—
受取賃貸料	8,809	8,612
投資事業組合運用益	872	—
保険解約返戻金	594	3,745
その他	1,470	1,231
営業外収益合計	11,934	13,666
営業外費用		
支払利息	62,403	58,999
為替差損	1,029	3,802
その他	8,919	8,949
営業外費用合計	72,352	71,752
経常利益又は経常損失(△)	22,760	△31,819
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	22,760	△31,819
法人税、住民税及び事業税	4,786	2,738
法人税等調整額	△1,052	72
法人税等合計	3,733	2,811
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,026	△34,631

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2017年10月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	9,518,692	3,167,276	2,257,158	—	14,943,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,518,692	3,167,276	2,257,158	—	14,943,127
セグメント利益又は損失(△)	198,910	60,648	△12,958	△163,421	83,178

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△163,421千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	8,889,561	2,014,910	3,385,958	—	14,290,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,889,561	2,014,910	3,385,958	—	14,290,430
セグメント利益又は損失(△)	163,329	△1,569	10,902	△146,397	26,266

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△146,397千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来当社の報告セグメントは「食料部」「総合食品部」「営業開拓部」「生活産業部」の4区分としておりましたが、第2四半期会計期間より「食料部」「営業開拓部」「生活産業部」の3区分に変更することといたしました。これは、会社組織の変更に伴い、2019年1月4日付けでセグメントを変更したことによります。

各セグメントの事業に係る主な取扱商品は、以下の通りであります。

(1) 食料部 牛肉・鶏肉・タイ産加工食品

(2) 営業開拓部 車輛部品・農産品・化学品

(3) 生活産業部 豚肉・中国産加工食品

なお、前第3四半期累計期間の報告セグメント情報は変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。